

令和7年度第2回茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会会議録

| | |
|-----------|--|
| 議題 | (1) 後期進捗管理表（令和8年度～令和12年度）について |
| 日時 | 令和7年11月13日（木）9:30～10:20 |
| 場所 | 茅ヶ崎市保健所 第1会議室 |
| 出席者氏名 | 志澤智子、竹中理恵、飯島直子、佐野初美、齋藤直樹、渡邊成仁、 柴田佳世子、松井新吾、秋吉美穂子、北岡英子 (欠席委員) 前園トシ子、村越さゆり、金國鍾、関義弘、鈴木薰、宮川茂夫 (事務局) 健康増進課長 寺島、課長補佐 和田、課長補佐 門田、 主査 中原、主査 松田、主任 秋山、主事 織田 |
| 会議資料 | <p>【事前送付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1 後期進捗管理表（令和8年度～令和12年度）（案） ・資料1-2 評価結果一覧（案） ・資料2 補足説明 ・資料3 意見シート <p>【当日資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・座席表 ・事前意見シートまとめ ・茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会規則 ・茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会委員名簿 ・令和8年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会スケジュール表 |
| 会議の公開・非公開 | 公開 |
| 傍聴者数 | 0人 |

○事務局（課長）

本日はお忙しいところ、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会に御出席いただきましてありがとうございます。

まず、はじめに委員会の概要説明をさせていただきます。

本委員会では、本市における食育推進計画、健康増進計画、歯及び口腔の健康づくり推進計画に関する諮問について審議していただきます。

委員会での皆様の御発言につきましては、所属団体を代表しての御意見だけでなく、委員個人の御意見として、御発言いただくこととなりますので、日頃から感じていることについて、自由な御発言をお願いいたします。

それでは、開会に先立ちまして御挨拶申し上げます。本来、前田保健所副所長より御挨拶申し上げるところでございますが、本日所用のため欠席となります。代理として、私から御挨拶申し上げます。

○事務局（課長）

改めましておはようございます。

健康増進課の寺島でございます。

本委員会におきましては、本市の食育や健康づくりに関する施策を進めるにあたり、貴重な御意見や御助言をいただけれること、大変心強く思っております。

令和7年度は、10年計画となる茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の中間期となり、現在中間評価を行うため、前回の審議会で皆様からいただいた御意見を参考にアンケートを実施しています。ぜひ委員の皆様におかれましては回答の御協力、並びに職場や地域、お知り合いの方々にもアンケートへの御協力ををお願いしていただきたいと思っております。

本日は、計画の後期5年間、令和8年度から12年度の進捗管理について、委員の皆様から忌憚のない御意見をいただきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

○事務局（課長）

それでは、委員会を開会し委員長への諮問書のお渡しをしたのち、議事に入らせていただきます。

ただいまより、令和7年度第2回茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会を開会いたします。

本日は、前園委員、村越委員、金委員、関委員、鈴木委員、宮川委員より欠席の御連絡をいただいておりますが、委員16名中、過半数を超える10名の委員に御出席をいただいておりますので、茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会規則第5条第2項の規定による会議の開催要件を満たしていることを御報告いたします。

続きまして、会議の傍聴について御説明いたします。本市では、行政運営における公正を確保し、効率化を図るとともに、市民参加を推進するため、本委員会の会議は原則公開で傍聴ができることとなっております。

本日の傍聴について確認いたします。

本日は傍聴希望者がいらっしゃいません。

続きまして、本日の資料と議事録について、事務局より説明させていただきます。

○事務局（門田）

まず資料の確認をさせていただきます。

【机上配付資料、事前送付資料の確認】

続きまして、議事録について説明させていただきます。本委員会は会議録を作成いたします。会議録には、各委員のお名前を掲載させていただきます。会議に御出席の全委員の皆様に確認していただき、会議から45日以内にホームページにて公開となります。

【AI議事録の使い方を説明】

○事務局（課長）

議題に先立ちまして、北岡委員長に市長からの諮問書をお渡します。

【諮問書を委員長へ】

ここからは議事の進行を委員長にお願いいたします。

○北岡委員長

改めまして、皆様おはようございます。

ただいま市長より、茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の後期進捗管理について諮問を受けましたので、皆様、これからいろいろと御意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、議題に入っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。皆様、次第を御覧いただきますと、議題が1つございます。議題（1）後期進捗管理表（令和8年度～令和12年度）について入らせていただきます。

まず事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（門田）

議題（1）について事務局より御説明いたします。

お手元に「資料1-1 後期進捗管理表（令和8年度～令和12年度）（案）」と「資料1-2 評価結果一覧（案）」及び「事前意見シートまとめ」を御用意ください。

本委員会や庁内関係各課、食育健康増進計画連絡調整会議などの御意見を踏まえて、前期5年間とかけ離れないように、こちらの資料を変更いたしました。

後期進捗管理表では、事業ごとのメインターゲットとする層が明確となるようにし、年度ごとの取組が見やすくなるよう単年度で作成する予定です。

評価結果一覧では、評価点を前年度と比較できるようにすることをメインとして変更いたしました。

「事前意見シートまとめ」は、資料1-1及び資料1-2を元に、皆様から御提出いただきました意見シートに基づいて記載したものとなります。こちらを元に委員の皆様から御意見をいただけたらと思います。説明は以上でございます。

○北岡委員長

ありがとうございました。

委員の皆様方には、いろいろお忙しい中事前の資料にお目通しいただいて、御意見など賜ったかと思います。事前の意見シートまとめに沿って皆様に御意見いただきたいと思います。

まずお手元の資料で、御意見いただいたのが市民委員の志澤委員です。貴重な御意見をありがとうございます。少し御説明をいただいてもよろしいですか。

○志澤委員

新しく送られてきた、この進捗管理表のメインターゲット層の欄が新しくできたということで、どこの層に対しての事業なのか明確になって良いと思います。

そして評価結果一覧の方にも、どこのメインターゲットに向けた事業なのかというものが入っていると、より分かりやすい気がしてこのような意見を出させていただきました。

○北岡委員長

ありがとうございます。このことに関して、事務局としてはいかがでしょうか。

○事務局（秋山）

御意見ありがとうございます。

評価結果一覧の方には、進捗管理表の情報をもとに、各計画の施策ごとにまとめと評価を記載する予定でございます。メインターゲット層の情報も踏まえて、記載ができるようにしていきたいと思っております。

○北岡委員長

ありがとうございます。志澤委員いかがですか。

○志澤委員

まとめや評価の方に、メインターゲット層についての情報が入るということでしたら、問題ないと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。

他の委員の皆様からの御意見は、事前には特にありませんでしたが、今この場で御覧いただいて、今の御意見も踏まえた上で御意見、御質問でも結構ですし、こういう表記があったら良いかななど、ぜひ、出していただければと思います。いかがでしょうか。

いずれ中間評価とか、会議できっとやりますよね。

○事務局（門田）

中間評価に関しては来年度の冒頭にやりたいと思っています。実際に、今回出している資料1と資料2を使い始めるのは令和8年度以降となります。

○北岡委員長

長いスパンの計画なので、年度ごとの評価もそうですが、中間ぐらいのところでもう少し大きな評価をきっちりして、振り返りと、この先後半どうするかというようなことを御意見いただきながら、多少軌道修正していくということになります。そこに向けてでも、あるいは単年度ごとでも結構ですが、やはり評価の枠組みはとても大事なので、この枠組みを頻繁に変えてしまうというわけにはいきません。ここで御意見をいただいて、大体こういう枠組みで進めていきましょうというところで委員会としては結論を出したいと思いますので、どうぞ忌憚なく言っていただければと思いますが、いかがでしょうか。

○齋藤委員

今のメインターゲットは一つの事例だろうと思うのですが、全市民というのはあまりにも当たり前の話であって、もう少しどの層をねらっているのかということを、やはり行政としては訴える必要があるのではないかと思いますね。

例えば、食品ロスですと、私はどの部分で発生しているかよく分かりませんけれども、商店街、飲食街で非常に多いとか、そういう情報を我々は全然知らないですが、そういったところをもうちょっと絞り込んで全市民のうちのどこなのかと。

全市民はもう当たり前の話なので、もうちょっと掘り下げたターゲットを明確にしていただいた方が、進捗管理やこれから先の展開を訴えていくにも、それぞれの関係する機関が自覚できると感じました。

○北岡委員長

ありがとうございました。今の御意見に関してはいかがでしょうか。

○事務局（秋山）

御意見ありがとうございます。

事前にお送りした資料では、一例として全市民と入れておりますが、例えばポスター掲示、チラシの配布などは多くの方の目に触れるため、全市民としています。こちらで想定しているメインターゲット層としては、乳幼時期、小学生、中学生、高校生、青年期（19歳～39歳）、壮年期（40歳～64歳）、前期高齢者、後期高齢者、妊娠期・産前産後、親子向け、女性が中心、男性が中心などの項目を予定しています。事業ごとに、担当課がどこに向けた事業だったのかというものを記載していただく予定でございます。

○北岡委員長

斎藤委員いかがでしょうか。

○斎藤委員

いいと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。

ターゲットの分類例は記入をされる担当課に示し、この事業はどこを対象にやっている事業というところについて、分類が決まっているから揃っていくということですね。例で挙げたのが全市民なので、違うものの例を挙げておいていただくとよかったですのかもしれません。確認としてはとても大事なところだと思いますので、御意見ありがとうございます。

他にはいかがでしょうか。このような確認でも結構ですし、御質問や御意見でも結構です。

私からの意見ですが、資料1-1の進捗管理表では、課題と成果を書けるようになっていますが、一覧表の方ではまとめだけになっていますよね。まとめと書いてしまうと、それぞれ記入する側の担当者の思いで内容があまり揃わなくなる可能性もあるかなと思います。資料1-1の成果、課題、次年度に向けてといった内容をまとめに書いていくという理解でよろしいですか。

○事務局（門田）

資料1-1の進捗管理表を各課から出していただき、資料1-2にまとめる際に、健康増進課でまとめて書きます。おっしゃる通り、成果や課題等進捗管理表とずれないような形で記載していきたいと思います。

○北岡委員長

よろしくお願ひいたします。

枠組みや項目の名前が変わってしまうと一致していかなくなりますので、できるだけ統一を図つていただければいいかなと思います。ありがとうございます。

皆様方いかがですか。

こういう評価は、先ほど申し上げたように何年かのスパンでやっていくので、何年か経つてからこうすればよかったですと思われるることも結構出てくるんですね。今までの経験からも。なかなか最初の段階で、何年か先を見通すのはとても難しいです。そういう意味では作っていく時点でいろいろ考えても、結局、状況も変わってきますので、5年後や何年後などになると合わなくなってくるところがきっと出てくるかと思います。そのために中間評価や進捗管理をしていくので、今の段階、

令和8年度からスタートしていく段階で、皆さんを考えられる一番良い枠組みだなと思うところでスタートしたいので、御意見をいただければと思います。

松井委員何か御意見ありますか。

○松井委員

特にはないですけど、私は茅ヶ崎市だけでなく、こういった内容の会議のあちこちのメンバーに入っています。ちょっとずつ市町ごとに評価の仕方が違うため、単体で見せられるよりは本当は藤沢市と何が違うとか比較があつて同じ評価になると、その市だけの評価ではなく隣との比較もできるようになる。今回この10年はいいとしても、その先としては他市との比較ができるような評価表に変わっているといいかなとは思います。今回に関してはこれでよろしいかと思います。

○北岡委員長

松井委員、今までの御経験とかいろいろなところで、もうちょっと他の市町などやってらっしゃるところでこのようなことを入れたほうがいいとか、何かございますか。

○松井委員

特にはないですけど、例えばさつき言ったメインターゲットのところも、項目がまず違うと横並びにしたときに違うので、数字とかパーセンテージ、評価の仕方については、別に独自でいいと思います。やはりその周りと比較できるように項目を作るというのがいいとは思います。でも、茅ヶ崎市の今までの歩みを見ていくという意味では、これでよろしいのではないかと思います。

○北岡委員長

ありがとうございます。今後また評価、例えば県内において茅ヶ崎市の状態とかを評価していくというところでは、他市と比べていくところも大事かなと思います。先々の御意見として承りたいと思います。ありがとうございます。

柴田委員、何かございますか。

○柴田委員

私の方も特に意見はないですが、皆さんの意見を伺っていてなるほどと思ったところもあります。やはり、横の比較のところも大事ですし、経年的な比較のところも大事ですし、その辺の横軸と縦軸となるのか、その辺の塩梅や考え方というのも、どう思ったからこうしましたというところを明確に持つていれば、それはそれでいいのかなと今お話を伺いながら思いました。

○北岡委員長

ありがとうございます。

確かに、茅ヶ崎市の中でもやはりこれだけの長いスパンだと経年的な比較や増減だとかがいろいろ大事だと思いますので、ぜひともと思っています。

そのことに加えて私の意見になってしまいますが、先ほど申し上げたように社会状況は本当にこの短い期間で変わっていくんですね。

計画そのものも、実は今立てているものが本当にそのあとまで活用できるものなのかというところが出てきます。往々にして、自治体は1回決めると変えない、あるいは変えられないことが多いです。例えば、評価が毎年「実施なし」の場合、状況から実施ができないのであれば、項目をいつまでも置いておくのはいかがなものかみたいなことになっていきます。長いスパンでの単年度もうですが、経年に見ていただいて、目標とか項目が状況として変わってきたらその時点で変更というのも考えていいのではないかなと思っています。

これは今日のことだけでなく先のことを見通してというところで、場合によっては、新たに加え

た方がいい項目も出てきたりするので、計画は生き物だと思っています。生活の状況とか自治体の状況に合わせて多少の変更もしていくこと、柔軟にやっていくということも、この先御検討いただけたらありがたいなと思っています。個人的な意見です。

それでは、渡邊委員いかがですか。

○渡邊委員

皆様の意見を聞いて、私もこれに関して特にこうした方がいいという意見はなかったんですが、やはり今お話を聞いていて、他市との比較、茅ヶ崎市はこうですが、ちょっと離れた例えは東京とか、地域によって文化も違いますし、上がってくる項目も違うかなと思います。そういうところが見られたら、この地域ではこういうことが問題としてあるんだ、うちの地域でももしかしたらそこが出てくるかもしれないね、という新たな発見もあるかもしれない、それと比較ができると面白いのかなとは思いました。

○北岡委員長

はい、ありがとうございます。

斎藤委員、ありますかね。

○斎藤委員

ありがとうございます。

私も今、委員長が言われたこと、すごく実感していますが、私は老人連合会ですが、この数年で相当様相が変わってきている。要するに年齢層も、すごく高齢化している。従って、いろいろな活動とかは、過去こういうことやっていたから同じことを今年もやれる、来年もやれるかというとそうでなくなってきたんですね。ですから、柔軟な対応をしていく必要はあるのではないかなど私も感じました。

○北岡委員長

ありがとうございます。

こういう会議で、皆さんからの御意見をいただいて、変えていくところは変えていくというようなことができるといいかなと思います。

それでは、佐野委員何かございますか。

○佐野委員

進歩表とか一覧表の内容のことではないのですが、いただいた資料の一覧表が真っ黒で見えないんですよね。おそらくパソコンでは見えているしカラーでは分かるのでしょうか、モノクロでいただくと書いてある文字が読めないところがあるので、ここちょっと直していただけると嬉しいです。

○北岡委員長

他は大丈夫ですか。もし、また見ていただいて何か御意見あれば、ぜひと思います。

飯島委員いかがでしょうか。

○飯島委員

私も伺っていてちょっと思ったのが、やはり茅ヶ崎市だけではなくて、神奈川県全体が見通して比較ができると、こちらの方で取組がどういう状況なのかとか、幅広く考えられるのかなと思いました。

○北岡委員長

ありがとうございます。
それでは、竹中委員いかがでしょうか。

○竹中委員

皆様の御意見を聞いていて本当にそうだなとすごく納得をしています。
特にメインターゲット層のところで、齋藤委員からのどういう分類をするのかという質問から、もう分類の案が決まっているという御回答をいただきました。その内容自体のメモが全部は取れなかつたのですが、おそらく精査していただいていると思いますので、最終的な中間評価や、最後の評価でこの層に手が届かなかつたなということがきつと、反省なり、軌道修正ができるような資料になればいいと思います。よろしくお願ひいたします。

○北岡委員長

ありがとうございます。
多分、ターゲット層は、今まで他の自治体であまり私は聞いてないような気もします。やってい
るところはありましたか。参考にしているところがありますか。

○事務局（秋山）

特にどこの自治体を参考にしたというわけではないのですが、これまで前期の進捗管理表を精査
している中で、やはりこういうものが見えた方が、事業の取組としてより良いものになるのではな
いかと考え、今回取り入れさせていただいております。

○北岡委員長

そうなると、ちょっとモデル的に始めようというところだと思うので、もう少し何年かやってみて、その枠組みに合わないものが出てくることや、ちょっと一緒にしたほうがいいとかなどまた変
えていってもいいのかなと思いますので、ぜひスタートしていただこうというところでどうかね。
それでは、志澤委員プラスして何かございますか。

○志澤委員

先ほど言った意見の他にはないです。
皆さんの意見、本当にその通りだなと思いますので、そういうのも含めて改善されていけば本
当にいいものになるような気がしております。

○北岡委員長

ありがとうございます。
最後に、秋吉委員、よろしくお願ひします。

○秋吉副委員長

皆様、御意見いろいろありがとうございました。私も勉強になりました。
私の方からこちらの資料をいただいたときに、現実と乖離している部分もあるかもしれませんけ
ど、いわゆる教科書的には、この最終にしろ、中間にしろ、評価の指標というのを最初に決めてお
くのが難しい部分であり、大事な部分でもあるということは承知しております。
こちらの3つの計画は、いずれも評価が実施評価の枠組みの中で示される内容に特化してい
るような気がずっとしていたんですね。実施評価というのは、茅ヶ崎市側にとっての実施状況なので、

回数であるとか、集まった人数であるとかです。こういった、計画の利益を被る市民側の評価ではなくて、実施する側の評価がメインになっているなと感じていました。

今回、成果とか課題とか次年度に向けての改善点のところをもう少しカテゴリーに分けて、分かりやすく明確なものにするということであれば、この中を結果評価できる取組とできない取組について、食育の部分は非常に結果評価を求めようとすると難しい部分がありますが、健康増進計画、歯及び口腔の推進計画だと、結果評価がもう少し立てられるかと思います。今は立ててないと思いますが、結果評価について、例えば食品ロスでしたら食品ロスをなくすように市民がなったことが分かるような物差しというか、指標をイメージして、それをすくい上げられるような評価を書いていただくと、次の計画の時にはもう計画前の時点で、5年後10年後を見据えたその結果評価をすることがはつきり見えているので、分かりやすいと思います。

そういった数値化が難しい食育の部分では、例えば幼稚園や学校での食育についての評価は、子どもたちの日常の発語や態度、姿勢を、周りの大人たちが吸い上げるような意識をもう少し高めておいて、子どもの姿勢や態度、お昼の給食の時の発言はこういう言葉が増えたよねとか、そういったようなことも拾えるような学習目標、結果、影響評価を立てる。そのような評価項目も、足していく内容について設定して、評価することも必要になってくると思います。その練習というか、プレのつもりで今回も少し意識して拾い上げられる評価の内容は拾っていき、こちらの方の改善点に記載していただけると次の計画がしやすいかなと思いました。

あとは、このターゲットというのは、比較的ライフステージというか、ライフコースをイメージされていると思います。それを認識として、計画する側も、それから実施する側も少し意識すると、その結果もはつきりしてくるし、やっていることの成果を拾えるのではないかと私も考えております。

それから近隣とのお話もありましたけど、研究レベルだとそういうことはすごく大事になってきます。現実として難しいということであれば、この目標のような枠組みや項目を近隣ではどのように計画を立てているかということをまず参考にされる。研究者側とすれば資料になるわけなんですね、各市がやっているこういった取組が。なので、そこまで見通して立ててくださいというのではなく、おそらく現実として難しい部分があると思います。とはいって、神奈川県内、あるいは関東近県で似たような項目があれば、そういったものを参考にしていくというのも一つかなと思います。

○北岡委員長

ありがとうございました。

今、それぞれの委員の方々から御意見がいろいろ出ましたが、それを受けて事務局の方から何かありますか。あるいは、ここはどういうことなんでしょうというようなところで、もうちょっと説明してくださいというところがありましたらぜひともと思いますが、いかがですか。

○事務局（門田）

秋吉委員がおっしゃったように、食育のところが私たちも評価が難しいと思っている部分があります。検診ではないため、受診率から見えてこない。でも、食育は大切なことで、子どもたちもそうですし大人ももちろん大切です。皆さんにどこまでこれが浸透しているのか確認するときに、どうしても私たちだとアンケートをとってみようという安直な考えになってしまいます。おっしゃっていた、日々お子さんと接している方、大人自身も、日常の発言、姿勢、態度を見るというのは、新しい視点だなと思ったので参考にさせていただけたらと思います。

○北岡委員長

そうですね。なかなか、難しいんですよね。

数値で出てくるものははつきりしていますが、数字だけでは表せない現実というのがあって、表せないものをどのように評価するのかというのは、質的な評価になるのですが。

行動変容がどうだったのか、というところはある程度目に見えたりするんですが、そこをどうカウントするのかというのは、難しいですね。また、それを対応してくださる保育園だったり、小学校だったり、いろいろなグループだったりすると、そこに対応した人にそのことをお願いしないと、カウントはできないじゃないですか。そのあたりも、目標とその目標を達成するための具体的な計画の中に入れ込んでいかないと多分評価はできないと思います。

秋吉委員がおっしゃったのは、アウトプットとアウトカムの問題かなと思います。いわゆるアウトプットというのは、受診率が何%でしたとか、虫歯のある子どもは何人でしたとか、数値で出てくるそのままの結果がアウトプットです。アウトカムというのは、すごく簡単に言うと、そのことがどのように影響されて波及していくのかというところを見ていくことなので、それを見ていくには、同じような物差しで見ていただかないとみんながバラバラになってしまいます。そこをどのように設定するのかというところが、永遠の課題みたいなところもあって、絶対これでいいというわけではないんですが、今、秋吉委員が言われたような視点で評価をするということもとても大事になってしまいます。

というのは、いつもいつも実績だけでいくと、実績が上がっていかないと悪い評価になってしまいます。例えば、毎年毎年あまり変わらない数字であると、何をやっているんだという評価になりますが、維持していくことも大事な評価になってきます。あるいは、下がってしまってもこういう事情があって下がっていったという、そこをやはり評価をしていかなければいけないときには、別の視点で見ていくことが必要になってきます。この辺は私も幾つかの自治体に関わらせていただいているのですが、みんな悩んでます。

さっきアンケートっておっしゃいましたけど、参加者の人からの声を聞いて、それを少しまとめて出していくところも、割とやりやすいところです。結果だけではなく、そこに参加をされた方がどれだけその結果を踏まえて生活が変わったとか、健康的になったかとか、そこをどうやって見るかというのがきっと課題なのだと思います。

いろいろ御意見いただきましてありがとうございました。

他に何かございますか。大丈夫でしょうか。せっかくのこういう機会ですので、もし御意見がありましたらと思いますが、よろしいですか。

松井委員。

○松井委員

11月5日からアンケートが始まっていて、やったんですけど、あのアンケートからは何を拾いたいのでしょうか。

○事務局（門田）

3つの計画の当初に設定した成果目標がありまして、進捗管理表ではその回数や検診の受診率が見えてくるのですが、例えば食品の安全に関する基礎的な知識を持っているかですとか、朝御飯食べてますかというのはどうしても進捗管理表からは見えてこないので、その部分を拾いたいと思って、アンケートの項目を設定しました。

○松井委員

承知しました。

みんなに案内出して、みんないっぱいポチポチしてくれるといいですね。

○北岡委員長

他にはいかがでしょうか。

それでは、今日の議題（1）進捗管理表のあり方に関しては、いくつか御意見いただいたところを事務局の方で、少し修正を入れ込んでいただき、これで進めていくというところでよろしいでしょ

うか。

よろしいですか。

はい。ありがとうございました。

それでは次に進みたいと思います。その他の方に進んでよろしいでしょうかね。

事務局からその他の事項について、御説明をお願いいたします。

○事務局（門田）

その他について御説明させていただきます。その他は全部で4点あります。4点説明後に、御質問や御意見等いただけたらと思います。

まず1点目、茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の中間評価についてです。

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画に関しましては、今年度、令和7年度中に中間評価を行いたいと思っております。

第1回茅ヶ崎食育健康づくり推進委員会では、アンケートの手法について先日御審議いただきありがとうございました。

インターネットを用いたアンケートを、11月10日の月曜日から実施しております、11月30日の日曜日まで回答期間を設けています。インターネットでの回答を基本としておりますが、必要な方にはアドバイスいただいた通り、紙媒体も用意しております。

市内各公共施設の他、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校、民間施設等にチラシの配布、ポスターの掲示をお願いしております。

昨日の17時の時点の推計にはなりますが、10、11、12の3日間で171件の回答をいただいております。

より多くのアンケートを回答いただけるよう、各委員の皆様からも、身近な方への周知に御協力いただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。もしチラシやポスターをお持ち帰りになつていただけるようでしたら、事務局に帰り際お声がけいただけたらと思います。

LINE配信も予定しております、来週11月18日の火曜日にLINE配信でアンケートを呼びかける内容を配信予定であります。中間評価については以上となります。

○事務局（和田）

次に2点目、茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくりの推進に関する条例について御報告いたします。

本条例は、歯及び口腔の健康づくりの推進について理念等を定めるものですが、制定から10年以上が経過していることから、昨今の社会情勢の変化や歯科に関する取組を踏まえまして、すでに取組を進めていますオーラルフレイル、また災害歯科保健について明文化できないか検討を進めています。

なお、本条例の改正により、現行の歯っぴい計画を変更する予定はございませんことを委員の皆様には御報告させていただきます。

○事務局（門田）

次に3点目、議事録と答申について御説明させていただきます。

本日の審議会の会議録を事務局で作成後、本日御出席の委員の皆様へ会議録をお送りいたします。期日までに御確認いただき、訂正の必要がある場合は事務局まで御連絡ください。期日につきましては、会議録を送付させていただく際にお知らせいたします。皆様に御確認いただいた後に、市ホームページ等にて公開となりますのでよろしくお願ひいたします。

また、議事録を作成後、皆様からいただきました御意見から答申を作成いたします。皆様に御確認いただいた後、市長へ報告することとなります。会議録同様、市ホームページ等にて公開となります。

3点目は以上でございます。

○事務局（門田）

最後4点目、今後の委員会の予定についてです。

資料「令和8年度茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会スケジュール表」を御確認ください。令和8年度は、4月末頃に第1回、8月頃に第2回の委員会を開催する予定でございます。3月中に、資料の送付や、日程調整の御連絡をさせていただく場合がございます。もし、年度が変わり団体内の役職の変更等により委員の変更が必要な場合は、事務局の方にお知らせください。

よろしくお願ひいたします。

その他については、以上でございます。

○北岡委員長

はい。ありがとうございました。

事務局から4点御説明がございましたが、そのことに関して御質問等がございますでしょうか。よろしいですかね。

中間評価があるということ、それから条例が変わって進めていくということ、議事録のこと、それから、本委員会の来年度の予定になりますが、よろしいでしょうか。

それでは、この会議を終わりにしたいと思います。

今日、短い時間ではありましたが、お一人お一人からこの計画のことについて御意見をいただき、これからのことですとか、それからこういう計画を市民である皆様方が、御自分達のことと思って一緒に作り上げていくことがとても大事かなと思います。

いつも申し上げているのですが、絵に描いた餅のような計画ではなく、やはり皆さんの健康度アップや生活のアップに繋がっていくような実施計画ができたらいいかなと思っています。これから先、進捗管理をしっかりと、ある意味温かく厳しい目で進捗管理をしていただいて、軌道修正ができるいけばいいかなと思います。

このメンバーになるかどうかは、それお代わりになる方もいらっしゃるかと思うのですが、今年度はこれが最後になるんですよね。

前回含めて、委員の皆様方には本当にいろいろと御協力をありがとうございました。来年度も引き続きの皆様につきましては、また来年度よろしくお願ひしたいと思います。

それではこれで本日の会議を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。